

二〇二四（令和六）年度

花園大学大学院 修士課程（秋季募集）

文学研究科 国文学専攻

入学試験問題 専門科目

【注意事項】

- ①問題は、「中古」「中世」「近現代文学」「現代文化」の四分野があります。その中から二分野を選択して解答しなさい。
- ②解答用紙には、受験番号・氏名のほか、選択した分野も明記しなさい。
- ③問題用紙と解答用紙は、すべて回収します。
- ④試験時間は九〇分です。途中で退出することはできません。

〔設問一〕次の各文章は、平安時代の文学作品の冒頭部分である。作品名と作者名を答えなさい。なお、作者不明の作品の場合は「作者未詳」、不明だが有力視されている伝承作者がいる場合は「作者未詳（伝〇〇）」と記すこと。

①人の世のさまざまなるを見聞きつもるに、なほ寢覚めの御仲らひばかり、浅からぬ契りながら、よに心づくしなる例は、ありがたくもありけるかな。

②むかし、男、初冠して、奈良の京春日の里に、しるよしして、狩にいにけり。その里に、いとなまめいたる女はらからすみけり。この男かいまみてけり。

〔設問二〕次の文章について、後の問に答えなさい。

その夜は、*₁くろとの浜といふ所にとまる。かたつ方は*₂ひろ山なる所の、砂子はるばると白きに、松原茂りて、月いみじう明きに、風の音もいみじう心ぼそし。人々をかしがりて歌詠みなどするに、

まどろまじ今宵ならではいつか見むくろとの浜の秋の夜の月

*₁くろとの浜：黒戸浜。千葉県木更津市小櫃川の河口付近の地名。

*₂ひろ山：広々とした丘

①この文章における「くろとの浜」（黒戸浜）の風景描写の特徴について、分析しなさい。

②傍線部の和歌を現代語訳しなさい。

〔設問三〕中古文学の成立と展開について、具体的な作品名や人物名を適宜示しつつ、次の各語句を必ず用いて概説しなさい。

かな文字、宮仕え、自照、歴史物語、説話

中世文学

I 別紙 A・B は御伽草子（室町物語）のいわゆる「浦島太郎」の末尾の場面の、渋川本と日本民芸館蔵本です。両者を比較して、どのような違いがあるか、またそのことによつて、それぞれはどのような話として理解できるか、論じなさい。なお、日本民芸館蔵本については絵も含めて考えること。

II 次の（一）～（三）の文は、中世文学の著名な作品の一部である。（ ）内を埋め、その作品名と、その作品について知るところを書きなさい。

一、行く河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。（ ）またかくのごとし。

二、花は盛りに、月は（ ）をのみ、見るものかは。雨にむかひて月を恋ひ、垂れこめて春の行方知らぬも、なほあはれに情け深し。咲きぬべきほどの梢、散りしをれたる庭などこそ、見所多けれ。

三、祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰のことはりをあらはす。おごれる人も久しからず、ただ（ ）。猛き者も遂にはほろびぬ。ひとへに風の前
の塵に同じ。

著作権処理の都合により掲載できません

著作権処理の都合により掲載できません

近現代文学

近代文学の問題を選択した場合は、一問とも解答すること。

問Ⅰ 次の文章は、夏目漱石「夢十夜」第五夜の抜粋である。これを読み、①語り手は誰でどのような位置から語っているのか、②一般的な語りの原則と照らし合わせた時に、第五夜の語りにはどのような不自然さが見られるか、について具体的に説明しなさい。必要に応じて、本文を「」に括って引用しながら説明すること。

著作権処理の都合により掲載できません

問Ⅱ 敗戦直後（アジア・太平洋戦争後）に登場した新しい文学潮流とその特徴について、代表的な作家・作品に言及しながら説明しなさい。文学潮流は複数挙げること。

現代文化

現代文化の問題を選択した場合は、二問とも解答すること。

設問 1 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

著作権処理の都合により掲載できません

著作権処理の都合により掲載できません

(井上俊、2014「現代文化のとらえ方」井上俊編『〔全訂新版〕現代文化を学ぶ人のために』世界思想社、12～15)

(1) 傍線部(1)について、情報の「多層化」がどのようにして「大きな物語」を衰退させるか説明しなさい。(100～200字程度)

(2) 傍線部(2)について、自分の物語を「現美化」できない権力作用の問題に該当すると考えられる具体例を挙げなさい。(100～200字程度)

設問2 日本のストーリー・マンガの始まりについて、海外から受けた影響に注目しながら論述しなさい。(字数は自由)